

個展開催に當つて

時節柄俳畫でもあるまいと思つて居りますと、かゝる折なればこそと、こちらの先覺に獎められまして、その聲援の下に俳畫個展を開く事になりました。御高評をたまはりたく、御來駕を待上げて居ます。

昭和十六年四月十四日

河村龍興

河村龍興氏俳畫展覽會

十五日より十八日まで
五階第二催物場にて

河村龍興氏は文展無鑑査の彫塑家にて、構造社同人として令名を馳せて居りますが、俳畫人としても既に一家を成して居ります。此度その近作四十點餘を陳列、超凡脱俗の藝術を御高覽に供し度いと存じます、何卒御清鑑の程願上げます。

昭和十六年四月



京城

三越

白筆俳画頒布作品はこちらです

生前の目呂二本人が望んでいた俳画展を実現開催するにあたっての
目玉企画となつてゐます。